

# 保健体育

## ○ 学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり

### 運動の多様な楽しみ方を共有できるようにする

体力や技能の程度及び性別の違い等にかかわらず、仲間とともに学ぶ体験は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けた重要な学習の機会であることから、原則として男女共習で学習を行うことが求められる。その際、心身ともに発達が著しい時期であることを踏まえ、運動種目によってはペアやグループの編成時に配慮したり、健康・安全に関する指導の充実を図ったりするなど、指導方法の工夫を図ることが大切である。

## 「個を活かす協働的な学び」の実現 「個に応じたきめ細かな指導」の充実

### 「授業づくりの三訓」を生かして（例）

しかけて待って	語らせつないで	認め励ます
<b>■「面白そう!」「うまくなりたい!」をもたせる</b> 単元のゴールや単元全体の流れ、目指す姿等から一人一人に見通しと目標をもたせる <b>◇手立ての例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールや教具等の工夫（誰もが楽しめること）</li> <li>・単元のゴールの共有</li> <li>・評価規準や評価方法等の共有</li> </ul>	<b>■語るための環境と視点</b> 課題発見、課題解決の視点をもたせ、技能等に関わらず誰もが発言できる環境をつくる <b>◇手立ての例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの中心に、全員が発言できる材料（映像資料やデータ等）を準備する</li> <li>・「どこを見ればいいのか」「何について考えればいいのか」を明確にする</li> </ul>	<b>■個の成果を称賛</b> チームへの称賛だけでなく、個の成果（できるようになったこと）を称賛する <b>◇手立ての例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこが（何が）どのようにできるようになっているのか具体的に称賛する</li> <li>・結果だけでなく、取組みの過程への称賛も忘れずに</li> <li>・仲間どうして認め合う場を設定する</li> </ul>

運動技能が高い生徒だけが楽しむ学習になっていませんか？運動技能の高い生徒だけが発言する話し合いになっていませんか？体力や技能の程度及び性別の違い等にかかわらず、仲間とともに学習に取り組むことができるようにする工夫が必要です。



## ICTの活用について

保健体育科におけるICTの活用は、育成を目指す資質・能力に応じた方法として、技能では、タブレットによる動画撮影に加えて、上空からの撮影、実施者視点の撮影など、他視点化をサポートする周辺機器の活用や、思考力を育む視点からは、プログラムやソフトの活用、電子ポートフォリオとしての学習成果の効果的な収集と分析などが考えられる。

### ○どの領域でICTを活用したか。

領域等	回答
体づくり運動	15%
器械運動	65%
陸上競技	38%
水泳	6%
球技	54%
武道	23%
ダンス	75%
体育理論	52%
保健	83%

### ○ICTの活用方法について

活用方法	回答
運動の行い方（手本など）の映像を見せた	86%
自分やチームの動きを撮影し、その映像をもとに交流した	91%
シュート回数などのゲームデータを入力し、その記録をもとに課題等を検討した	5%
プレゼンテーションソフト等を使って、授業を行った	62%
本時の内容に関わる映像等を見せた	78%
生徒が自分やグループの考えをプレゼンテーションソフト等でまとめたり、発表したりした	17%
アンケートや振り返りを集約した	25%

【令和3年度体力向上の取組み等に関するアンケートより（中学校）香川県教育委員会 2022. 2】